



第 22 期事業年度 (令和 7 年度)

決 算 報 告 書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

国立大学法人 信州大学

令和7年度 決算報告書(補正予算一有)

国立大学法人信州大学
(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	13,023	14,541	1,518	(注1)
うち補正予算による追加	-	603	603	
施設整備費補助金	1,060	556	△ 504	(注2)
うち補正予算による追加	-	0	0	
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	4,091	5,754	1,663	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	18	18	-	
自己収入	36,299	38,327	2,028	
授業料、入学科及び検定料収入	5,960	4,903	△ 1,057	(注4)
附属病院収入	29,695	31,855	2,159	(注5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	643	1,569	925	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,567	6,777	1,209	(注7)
引当金取崩	-	325	325	
長期借入金収入	205	156	△ 49	(注8)
目的積立金取崩	792	326	△ 465	
引当特定資産取崩	-	-	-	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成大学運営基金取崩	-	-	-	
計	61,058	66,784	5,725	
支出				
業務費	48,710	52,202	3,492	
教育研究経費	20,550	20,395	△ 154	(注9)
うち復興関連事業	-	-	-	
診療経費	28,160	31,807	3,646	(注10)
うち復興関連事業	-	-	-	
施設整備費	1,284	730	△ 553	(注11)
うち耐震対策事業	-	-	-	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	3,622	4,140	518	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,567	6,524	956	(注13)
長期借入金償還金	1,873	1,825	△ 48	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	0	-	-	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成事業費	0	-	-	
計	61,058	65,423	4,365	
収入-支出	0	1,360	1,360	

※本報告書は百万円未満切り捨てにより作成しています。

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった運営費交付金が追加交付されたこと等により、予算金額に比して決算金額が1,518百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金事業の一部事業を翌事業年度へ繰り越したこと等により、予算金額に比して決算金額が504百万円少額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった補助金事業の獲得に努めたこと等により、予算金額に比して決算金額が1,663百万円多額となっています。
- なお補助金等収入には、授業料等減免費交付金が1,095百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 授業料等減免費交付金が予定を上回ったこと等により、予算金額に比して決算金額が1,057百万円少額となっています。
- (注5) 入院患者数の増、手術件数の増等により、予算金額に比して決算金額が2,159百万円多額となっています。
- (注6) 農場演習林収入や学校財産貸付料収入等が予定を上回ったため、予算金額に比して決算金額が925百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究経費等の獲得が予算段階の見込みより上回ったため、予算金額に比して決算金額が1,209百万円多額となっています。
- (注8) 予算段階より借入の減額を行ったため、予算金額に比して決算金額が49百万円少額となっています。
- (注9) 事業の一部を翌事業年度へ繰り越したこと等により、予算金額に比して決算金額が154百万円少額となっています。
- (注10) (注5)で示した理由等による医薬品材料費の増、人件費の増等により、予算金額に比して決算金額が3,646百万円多額となっています。
- (注11) (注2)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が553百万円少額となっています。
- (注12) (注3)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が518百万円多額となっています。
- (注13) (注7)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が956百万円多額となっています。